

ハッチョウトンボ

Nannophya pygmaea Rambur, 1842

トンボ科

熊本県カテゴリー
絶滅危惧 A類 (CR)
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限、近年減少、その他（希少）

生息環境 丘陵地から山地の背丈の低い植物が生育する湿地や休耕田

生息状況 現在確認されているのは天草・県南地域である。天草地域（上天草市）の生息地は保護区に指定されている。しかし、湿地の管理がなされず、個体数は減少している。県南地域（人吉・球磨）では湿地・休耕田の管理がなされず、陸地化が進行し、絶滅の危機にある。



上段：雄♂

下段：雌♀



撮影：
松崎恵

生存への脅威 自然遷移、管理放棄、捕獲・採集、湿地の乾燥化

特記事項 保護区でも採集者が見られる。パトロール等の必要性がある。多様性条例（指定希少野生動植物）

「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋
(県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>)